

私たちの産のために



どのように出産したいか、自分らしいお産を妊娠中から考え計画することを、「バースプラン」といいます。

出産について考えることで不安が具体的になり、医師や助産師とお産についてより具体的に話しあうことができることで、出産に対する不安の軽減や解決につながります。

また、ママの思い描いたバースプランを家族や病院スタッフと共にし、出産に関わる人みんなでママらしいお産をサポートすることが可能になります。

バースプランについては妊婦健診時に用紙をお渡しします。ぜひ自分らしいお産について考えてみてくださいね！



「バースレビュー」は、ママと助産師でお産について振り返ることです。

担当した助産師とお産のときに頑張ったことや出来たことを振り返ることで出産体験をプラスに捉えることができ、自信が持てることでスムーズな育児のスタートにつながると言われています。

バースレビューの用紙は出産後にお渡します。私達と一緒に出産という貴重な体験について妊娠中から考え、振り返り、満足できる体験にしましょう！

\インターネット予約ができる！／ 生殖医療センターの ホームページができました！

大阪急性期・総合医療センターで不妊治療を行う「生殖医療センター」は、総合病院内にある強みを生かして他科とも連携しながら治療を進めていきます。疾患を抱えておられる患者さんもぜひご相談ください。下記 QR コードよりインターネット予約が可能となりました！是非ご利用ください♪

生殖医療センター直通ダイヤル
06-6692-0311

Q 急性期 不妊



住吉母子医療センター情報紙「きらり」の バックナンバーを掲載しています。

当センターホームページトップページの下部にあります「大阪府市共同 住吉母子医療センターについて」のナビゲーションメニューより、ページ下部にあります「広報誌」より PDF データご覧いただけます。妊婦さんとお子さんのための情報が満載です！ぜひご利用ください。

Q 住吉母子 きらり



医療機関の皆様へ

設置ご協力のお願い

住吉母子医療センター情報誌「きらり」の設置にご協力頂ける医療機関様を募集しております。

貴院への設置にご協力いただける場合、または送付希望部数を変更される場合は、右記 QR コードよりメールをご送信いただきますようお願い申し上げます。

Kyuseisogo@opho.jp



医療機関専用

●次号は 2021 年 12 月の発行を予定しております●

お問い合わせ

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪急性期・総合医療センター
大阪府市共同 住吉母子医療センター
06-6692-1201 (代表) 平日 9:00 ~ 16:30

住吉母子医療センター情報誌

きらり

vol.
11
2021.08



Topics

産科も小児科も！知っておきたい！
新型コロナウイルスワクチンのおはなし

母乳育児の神秘

⑩出生直後の早期母子接触から始める母乳育児

産科の医師に聞く！



産科も小児科も！知つておきたい！ 新型コロナウイルスワクチンのおはなし



このコーナでは、これまで風疹や麻疹、梅毒、トキソプラズマなど多くの感染症を取りあげてきました。妊娠に影響する感染症の多くは新型コロナをはじめとするウイルスによるもので、妊婦さんと赤ちゃんにとって妊娠中の感染症は大きな脅威となります。妊娠までにワクチン接種を受けて、妊娠中の感染を予防することが赤ちゃんへの影響を避けるためにも重要ですが、それ以上に男性も含めてできるだけ多くの人がワクチン接種を受けることにより、感染症が流行しない社会を作ることがより重要です。ワクチンは、接種した人が病気にかからないようにするためではなく、それ以上にみんながワクチンを接種することで病気が流行しにくいコミュニティを作ることに大きな意味があります。

歴史的に最初のワクチンである天然痘ワクチンは、牛の天然痘から作られたワクチンだったことから「牛になってしまふ」というデマが流されました。世界はこのような誤った情報を克服して、天然痘を撲滅しました。そして今、新型コロナウイルスのワクチンでも同じようにSNSの口コミからデマが拡散されています。悪意のある

フェイクニュースが、それを信じた悪意のない人によって拡散されて社会に大きな影響を及ぼしています。

日本産婦人科学会では、妊婦さんに対する新型コロナウイルスのワクチン接種について6月17日のお知らせで積極的に接種を勧めています。海外を含めて多くのデータが蓄積されたことから、妊娠しておられる方も妊娠数週によらずワクチン接種を受けることの安全性と有効性が証明されてきたためです。

これから、親となって家庭を築いていかれる皆さんは性別を問わず、コロナワクチンだけでなく、すでに制度化されている多くのワクチンについて、ぜひ積極的に受けるようにしてください。それが、生まれてくるお子さんの健康を守ることになります。また、生まれてきたお子さんには適切なワクチン接種を受けさせてあげてください。そのことは、ご自身のお子さんを病気やその後遺症から守るだけでなく、みんなでお互いの健康を守りあう社会を築くことになるのです。

新型コロナウイルスに対するワクチン接種が加速しているところです。接種対象の年齢も拡大しつつあり、12歳以上的小児への接種も行われ始めました。新しいワクチンだけに戸惑いがあることと思います。今回は考えるための情報源を3つご紹介します。

いずれの情報も同じ日（2021年6月16日）に発表されていますが、今後の状況によっては情報が隨時更新される可能性がありますので、それぞれのホームページをご確認ください。ワクチン接種は新型コロナウイルス感染症に対しても重要な役割を果たしています。一方で小児へのワクチン接種に関する情報はまだ十分とは言えないところもあり、適切な情報を知り、個々にその時の状況に応じてよく考え相談することが大切だと考えます。

日本小児科学会

「子どもに関わる業務従事者等への接種」、「重篤な基礎疾患のある子どもへの接種」、「健康な子どもへの接種」のそれぞれについて、「新型コロナワクチン～子どもならびに子どもに接する成人への接種に対する考え方～」として学会ホームページに掲載しています。

日本小児科医会

「12歳以上的小児への新型コロナワクチン接種にあたっては、保護者や本人への丁寧な対応が可能な個別接種を基本とし、集団接種を行う場合は、リスクをできる限り軽減するための対策と対応を十分に整備したうえで実施するよう推奨する。」ことを提言しています。

日本感染症学会

日本感染症学会は、小児に限らず新型コロナワクチン全般について、その有効性と安全性に関する科学的な情報を「COVID-19ワクチンに関する提言（第3版）」にまとめて発表しています。

産科・小児科の先生に聞いてみたいアレコレを募集中!!



きらりでは、診察中には聞きにくい素朴なギモンや、子育てに関するウワサの真相など、産科・小児科の先生に聞いてみたい小さなギモンを大募集しています!!下記のQRコードよりメールにて、みなさんの質問をお待ちしております♪

▼応募方法▼

QRコードを読み取り、「メール作成画面はこちら」をクリックしていただくとメールフォームが開きます。件名は変更せず、そのまま送信をお願いします。個人情報の入力は必要ありません。



母乳育児の神祕

⑩出生直後の早期母子接触から始める母乳育児

お母さんとあかちゃんが直接肌と肌とを触れ合わせた抱っこのことをカンガルーケアと言います。とくに出生直後に行う場合、STS(skin to skin contact : 早期母子接觸)と呼ばれます。STSをおこなうことは、さまざまな効果が期待され、実際に証明されています。

現在では日本中の多くの分娩施設でSTSが取り入れられています。もちろん、安全が最優先です。当センターでは、事前(妊娠中)に説明・同意書を運用しており、施行中は経皮酸素飽和度モニターを装着するなど、安全に十分配慮した上で、STSを行なっています。

出生直後に、お母さんとあかちゃんと肌と肌を通してお互いを感じていただき、あかちゃんにはお母さんのおっぱいを最初に吸い付くということは、本来ヒトとしての自然な行為(当為)であり、この貴重な体験は、あかちゃんとお母さんにとっての権利であります。

STS(早期母子接觸)の効果

- ・あかちゃんが落ち着き、心拍と呼吸が安定する
- ・お母さんの体温で赤ちゃんが暖められる
- ・あかちゃんの血糖が安定する
- ・あかちゃんの腸にお母さんの正常細菌(善玉菌)が定着する
- ・あかちゃんのなく時間を減らし、ストレスとエネルギーの消費を減らす
- ・お母さんとあかちゃんの愛着を増す
- ・あかちゃんが乳房を自分で探り当て上手に吸啜し始めることができる
- ・母乳確立に有効、結果的に母乳育児期間が長くなる
- ・お母さんの分娩後の出血が減り子宮の回復を早めるなど

小児病棟・小児外来監修

子どもの病気 ホームケア



6つの症状別チャートとホームケアのポイントがリーフレットになりました!

それぞれ症状が出た場合、どう対応すればいいか、相談先や連絡先などが一目でわかるフローチャートと、おうちでのケアのポイント、保護者の方からよくいただく質問などをリーフレットにまとめました。QRコードからアクセス!

